

キッズサポーターによる認知症への理解をテーマとする作品 最優秀賞

川口 風佳さん(志津川)
Fuka Kawaguchi



川口さんの
作文はこちら

キラリ東温この人なう No.123

地域で輝く人にインタビュー

東温高校2年生の川口風佳さん(17)は、「キッズサポーターによる認知症への理解をテーマとする作品」で全国唯一の最優秀賞を受賞。認知症の曾祖父を支え続けた曾祖母の姿や家族の絆を描いた作文『認知症』それでも愛した』が高く評価された。川口さんが小学校高学年の頃、曾祖父は少しずつ記憶を失い、家族のことも分からなくなつた。「認知症が進行するにつれ、家族がどうなるのか不安でした。しかし、曾祖父に寄り添い続けた曾祖母の愛情は、輝いていました。二人が歩んだ人生が評価され、誇りに思います」。川口さん自身も高校での認知症サポーター講座の受講や作文執筆を通じ、認知症に対する考えも大きく変わった。「認知症になると何もできなくなるかと考えていました。しかし、曾祖父にできたこともあり、一緒に過ごした大切な思い出は消える訳ではありません。忘れられても、寄り添い続け、何度も関係を築き、その瞬間を大切にすればいいと思います」。川口さんの言葉は、認知症の家族を支える人の心に響く。

編集後記

今年度最後の広報誌となりました。東温市誕生20周年に広報係一丸で作った特設サイト、動画記念誌はとも思いますが、残る仕事になりました。(相澤)

「キラリ東温この人なう」で取材した、川口さんの作文がとても勉強になりました。二次元コードからは是非読んでみてください！(戒能)

市民ミュージカルの舞台で、熱い想いや夢を持った皆さんが堂々と演じる姿を見て、胸が熱くなりました。素晴らしい公演でした！(石田)

目次 Contents

02_PICK UP 東温市民ミュージカル/
04_PICK UP コンビニで証明書を取得してみませんか?/06_スイッチとうおん/
10_子育てガイド/12_ふれあい広場/
16_情報BOX/22_暮らしと健康のカレンダー/
24_キラリ東温この人なう